

ご一緒に、いい人生



証券コード：4681

第51期 事業報告書 株主通信 Vol.51

2023年4月1日～2024年3月31日

飛騨高山美術館

INVESTORS' REPORT
April 2023 - March 2024

RESORTTRUST

TO OUR SHAREHOLDERS

株主の皆様へ



CEO 伊藤 勝康



COO 伏見 有貴

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、当社グループへの日頃のご支援に心より御礼申し上げます。国内余暇市場は順調に回復に向かっており、当社グループにおきましては、会員権販売が過去最高の契約高となり、ホテルやレストランなどの施設稼働率も高い水準となりました。さらに大型物件の不動産収益が一括計上されたこともあり、当期の連結売上高と連結営業利益はいずれも前期を大幅に上回り、過去最高となりました。

創立50周年を迎えた当期は、中期経営計画「Sustainable Connect」のスタートの年でもありました。初年度から計画を上回る成績を残すことができたことに加え、デジタル化の推進や従業員満足度の向上など、今後のさらなる成長につながる多くの施策を展開し、充実した1年となりました。今後も計画に掲げた諸戦略を実行し、グループのアイデンティティである「ご一緒します、いい人生～より豊かで、しあわせな時間(とき)を創造します～」の実践に努めてまいります。

今後とも引き続き皆様のご支援ご鞭撻を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役会長 CEO (最高経営責任者) 伊藤 勝康
代表取締役社長 COO (最高執行責任者) 伏見 有貴

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

「Sustainable Connect」初年度は過去最高水準の経営成績に。 持続可能な成長路線を再び歩み始めました。

売上高・営業利益ともに過去最高を更新。 会員権販売もホテル・メディカルともに過去最高に。

—— 当期の事業環境と経営成績についてお聞かせください。

国内景況は、物価や人件費の高騰などが個人消費や企業活動にも影響を及ぼし、値上げや賃金上昇、人手不足などへの対応が企業には求められました。このような環境の下、当社グループにおいては、建築原価や人件費などのコスト増に対応するため、2023

年6月以降にはホテル会員権の値上げを実施しましたが、その中でも、前期に続いてホテル及びメディカル会員権の販売が好調に推移し、契約高は過去最高を更新しました。また、2024年3月には会員制ホテルの新シリーズの第一弾「サンクチュアリコート高山」が開業し、不動産収益を一括計上しました。

こうした結果、当期の連結経営成績は、売上高が前期比18.8%増、営業利益は同72.1%増と、大幅な増収増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に一般ホテルの売却に伴う特

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

別利益90億円を計上したことによって、前期比6.0%減少しました。

会員権事業では、2022年3月から販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」や同10月に発売した「サンクチュアリコート日光」の会員権販売がそれぞれ好調に推移し、契約高は過去最高を更新しました。また、「サンクチュアリコート高山」の開業によって不動産部分の収益が一括計上されたことが大きく寄与し、当セグメントの売上高・営業利益はいずれも前期比70%近い増加となりました。

ホテルレストラン等事業では、2022年11月に実施したルームチャージ改訂の効果が通期で寄与したほか、「東京ベイコート倶楽部」など回復の遅れていたアーバンリゾートの稼働も回復したことなどから、増収増益となりました。メディカル事業では、2023年12月に発売した「ハイメディック大阪中之島コース」を筆頭に、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権販売が順調で、会員の増加に伴う年会費収入等が増加したほか、シニアライフ事業の収益性改善が寄与し、当セグメントも増収増益となりました。

「Sustainable Connect」は初年度から多くの成果。好調な業績を受け、3年後の目標数値は見直しを検討。

—— 中期経営計画の進捗状況をお聞かせください。

当社グループは現在、2023年4月から2028年3月の5年間で対象とした中期経営計画「Sustainable Connect」に取り組んでおります。サステナビリティ経営の推進、生産性・収益性の向上といった観点から基本戦略を策定し、さらなる事業拡大とともに、成長を支える経営基盤として、人財とDX（デジタル・トランスフォーメーション）の強化を推進しています。当初の目標数値としていた初年度（当期）営業利益180億円を大きく上回って達成している状況から、3年目営業利益の目標230億円についても、今後精査・見直しを検討してまいります。

当期は目標を上回る収益を達成したことはもちろん、他にも将来に向けた多くの施策に取り組み、しっかりとした成果を上げることができました。収益性の向上に向けては、会員権価格の見直しに加え、WEB経由予約やスマートチェックイン／アウトの浸透など、DXの活用を推進しました。サステナビリティ経営の推進に向けては、従業員の働きがい向上のため、昇給や自社株付与などを実施したほか、新たな採用手法の試行、サステナビリティフォーラムの開催にも取り組みました。6月には新任社外取締役3名が加わり、取締役会のガバナンス体制もさらに強化されました。

今後の開発スケジュールについては、会員制リゾートホテルは年間1～1.5施設のペースでの開発を予定しており、中長期的に継続して供給可能な体制が整っています。「グランドハイメディック倶楽部」は2024年度に大阪と東京、2026年度に横浜での開業を予定しており、これら3施設の開業によって、会員数を現在の約30,000名から、2027年度には42,000名へと大幅に増やしたいと考えております。

シニアレジデンスについては、三菱地所レジデンス株式会社と共同で、東京都心部に第1号物件の開発に着手することが決定しました。今後も、当社単体のみならず、積極的にさまざまなパートナーとアライアンスを組み、スピーディーな事業展開につなげてまいります。第1号物件は、2026年の開業を目指します。このほか、「トラストガーデン桜新町」などで取り入れているホスピスケアサービスの導入も、今後拡大していく計画です。

2025年3月期も過去最高の業績を更新。普通配当で4円増配の54円を予定。

—— 次期の事業計画と業績見通しについてお聞かせください。

今後も国内景況は緩やかな回復基調をたどるものとみており、当社グループは引き続き、「Sustainable Connect」に掲げた戦略を

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

実行することにより、さらなる成長を目指してまいります。次期の業績につきましては、2024年10月に「サンクチュアリコート琵琶湖」が開業し、これまで繰延べられていた不動産収益が一括計上されること、また、ホテルレストラン等事業とメディカル事業においても、会員数の増加や単価の上昇などによって運営収益が拡大する見通しであること、さらに、人的資本投資をはじめとした、中長期的な成長のための各種施策がグループのさらなる成長に向けて好循環を生み出していることなどから、売上高、営業利益及び経常利益は、引き続き過去最高を更新する見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益は、次期においても債券の償還益など特別利益が見込まれるため、当期並みの高い水準になると予想しております。

—— 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

コロナ禍は、当社グループの強みを改めて認識直す機会になりました。このアフターコロナにおいても、新たなポジショニング

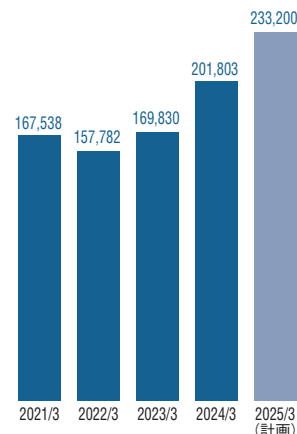
のもとで増収増益基調のさらなる成長へと舵を切っています。次期の配当計画につきましては、54円とさせていただきます。当期は普通配当50円と創立50周年記念配当4円で合計54円でしたが、次期は普通配当のみで54円となりますので、実質4円の増配で過去最高水準となる見込みです。

「Sustainable Connect」初年度は、過去最高水準の経営成績を達成するとともに、多くの施策において、今後につながる手応えを得ることができました。引き続き当社は常にお客様と共に、より豊かで幸福な社会の実現を目指した商品・サービスを協創する企業グループとして、サステナブルな経営を続け、企業価値向上に努めてまいります。

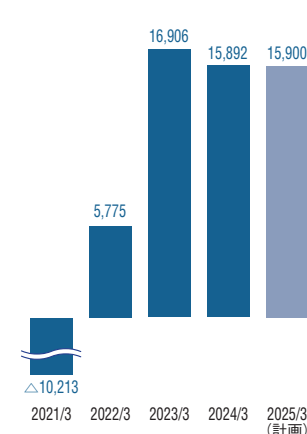
株主・投資家の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 COO 伏見 有貴

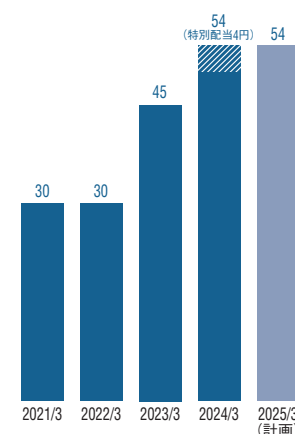
売上高(百万円)



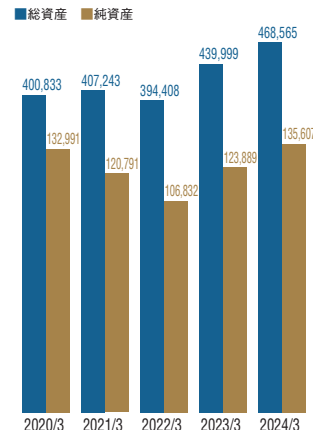
当期純利益(百万円)



1株当たり配当金(円)



総資産(百万円)／純資産(百万円)



※予測に関する数値は、2024年3月期決算発表時点の見通しに基づくものです。経済環境の変化などにより、実際の業績が予測と異なる可能性があります。

REVIEW OF OPERATIONS

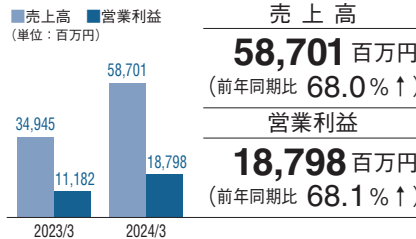
セグメント別概況

会員権事業

Membership Operations



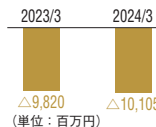
独自のコンセプトと多彩なロケーションで展開する高級会員制リゾートホテルの開発と、それらの会員権販売などを行っております。



2022年3月から販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」、2022年10月から販売を開始した「サンクチュアリコート日光」の会員権販売がそれぞれ好調に推移し、契約高は過去最高を更新しました。前年同期に比べ、見込み客紹介の業務委託手数料や営業スタッフのベア等人件費の増加などコストアップの減益要素がありましたが、2024年3月に「サンクチュアリコート高山」が開業を迎え不動産部分の一括収益認識をしたことにより増収増益となりました。

本社費 (全社費用)

Overhead expenses

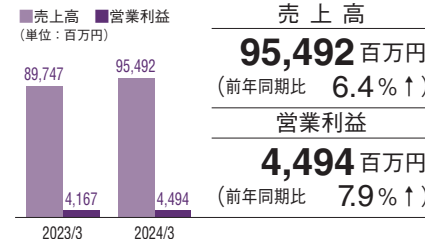


ホテルレストラン等事業

Hotel & Restaurant Operations



本物志向の設備、料理、サービスを核とするホテル・レストラン運営、会員制ゴルフ場の運営などを行っております。



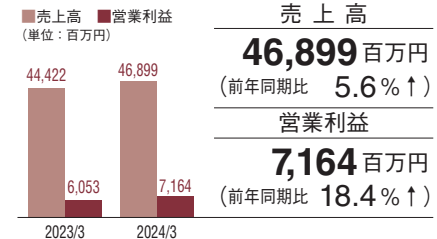
ホテルレストラン等事業におきましては、前年同期には、一部ホテル売却の準備コストがかかっていたものが無くなるなどコスト減少に加え、2022年11月からの値上げの効果(通期寄与)、さらには、「東京ベイコート倶楽部」など回復の遅れていたアーバンリゾートの稼働回復などにより、ベアや中抜け廃止などの人事施策実行に伴うコスト増や追加の修繕費を吸収し、増収増益となりました。

メディカル事業

Medical Operations



最先端で高品質な健康関連サービスを提供する総合メディカル事業及び有料老人ホーム等の運営を行っております。



メディカル事業におきましては、「ハイメディック大阪中之島コース」販売開始(2023年12月)の後押しもあり、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権販売が順調であったことで、会員の増加に伴う年会費収入等が増加したことに加え、シニアレジデンスの稼働回復などにより、増収増益となりました。

New Open

サンクチュアリコート高山

飛驒高山美術館は新たに生まれ変わり、ホテルと美術館が融合した
今までにない「アートギャラリーリゾート」が高山の地に誕生しました。



(左)レセプション
(上)日本料理テーブル席
(下)温泉露天風呂

飛驒高山美術館
Hida Takayama Museum of Art

飛驒高山美術館 グランドオープン オープニング記念セレモニーを開催

4月11日より飛驒高山美術館が一般公開されました。記念セレモニーには、田中明 高山市長をはじめ多くの皆様にご列席いただきました。美術館が保有する数々のガラス工芸品を収集してこられた向井鉄也 名誉館長からの「今後も皆様方のご指導とご鞭撻をいただきながら、1日も早く、再びミシュランの三ツ星を取れるような素晴らしい美術館となることを目指していきたいと思っております。」との言葉を胸に、長く愛される美術館を目指してまいります。

【飛驒高山美術館概要】

開館時間：10：00～15：00(ホテル宿泊のお客様 15：00～18：00、8：00～10：00)
入館料：大人1,000円(小学生以下、ホテル宿泊のお客様、サンクチュアリコート高山会員様 無料)



左から、向井鉄也名誉館長、伏見有貴社長、田中明市長、向井正規館長

SPECIAL SECTION

特集

Coming Soon! サンクチュアリコート琵琶湖 ベネチアンモダンリゾート

2024年10月 OPEN予定



ROOM



RESTAURANT



SPA

メディカル本部と連携したさまざまなウェルネスプログラムをお楽しみください。



開業準備室 室長
相原 克彦

壮大な琵琶湖のほとりに位置し、「サンクチュアリコート」シリーズの第二号として滋賀県高島市に誕生する当ホテルは、日本では類を見ない本格的なウェルネスリゾートです。メディカル本部と連携したさまざまなウェルネスプログラムのほか、リラクゼーションやアクティビティ体験など、メンバー様それぞれに合わせたオーダーメイドの滞在プログラムをご提供いたします。

また、西日本最大級となる700㎡の広大なドックランや、全室ドギールームの客室棟を完備。多様なドッグステイメニューを通じて、家族の一員である愛犬と共に過ごすレイクリゾートとしてもお楽しみいただけます。

高島市や地域の皆様との連携を通じて、地産地消を中心に地元の産業や雇用に貢献し、地域社会と共に発展するホテルを目指してまいります。

Access

お車で越しの方

- ▶名神高速道路「京都東」J.Cより約50分
- ▶北陸自動車道「木之本」J.Cより約50分

電車で越しの方

- ▶JR湖西線「近江高島」駅よりタクシーで約8分
- ▶JR湖西線「安曇川」駅よりタクシーで約10分

TOPICS

トピックス
メディカル

『グランドハイメディック倶楽部『ハイメディック大阪中之島コース』、『ハイメディック・ミッドタウン・イーストコース』』会員権販売開始

リゾートトラストグループでメディカル事業を担い、会員制総合メディカル倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」を運営する株式会社ハイメディックは、「ハイメディック大阪中之島コース」、「ハイメディック・ミッドタウン・イーストコース」の会員募集を開始しました。

両コースでは、ウェルビーイングのコンセプトを検診に取り入れ、「重篤な疾患の早期発見・治療」（二次予防）だけでなく、さらに前の段階である「健康維持・健康増進・生活習慣の改善」（一次予防）にも取り組むことで、介護予防（介護を必要としない体づくり）に貢献し、人生100年時代の健康長寿を支えます。また両コースとも、検診で異常が見つかった際には二次検査や治療へのスムーズな連携が可能な体制も魅力です。「ハイメディック大阪中之島コース」の検診は、先進医療の新拠点として注目を集めている「Nakanoshima Gross」（中之島クロス）内の「未来医療MEDセンター」で実施します。検診開始は、「ハイメディック大阪中之島コース」は2024年8月、「ハイメディック・ミッドタウン・イーストコース」は2024年秋を予定しています。



ハイメディック大阪中之島コース
受付イメージ

ハイメディック・ミッドタウン・イーストコース
受付イメージ

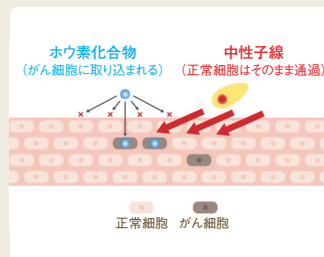
■主なサービス内容

- ▶ 検診…がんや脳血管疾患、心疾患、介護リスクなどの多角的な検査
- ▶ 検診で異常が見つかった際の医療機関ご紹介
- ▶ 当倶楽部のドクターへの医療相談
- ▶ 完全予約制の特別外来
- ▶ 医療コンシェルジュによる定期的なフォロー
- ▶ 会員様参加型プログラム（導入予定）
※有料オプションメニューです

がん治療装置（BNCTシステム）が「希少疾病用医療機器」に指定

当社の連結子会社である株式会社CICSが開発を進めるホウ素中性子捕捉療法用中性子照射装置「CICS-1」が、厚生労働省より皮膚血管肉腫に対する「希少疾病用医療機器」の指定を受けました（2023年12月22日付）。本装置を使用した「ホウ素中性子捕捉療法」（BNCT）の臨床試験は、国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院にて2019年から実施されています。皮膚血管肉腫は症例が少なく、有効な標準治療も確立されていません。今回の指定により、国が優先して製造販売承認の審査を行うため、医療上の必要性が高いCICS-1が医療現場に速やかに提供されることが期待できます。

【BNCTとは】



BNCTは、がんの放射線治療の一種で、がん細胞にホウ素を特異的に取り込ませ、体外から低エネルギーの中性子を照射します。ホウ素原子が中性子を捕獲すると、がん細胞内で特定の核反応を起こします。そのエネルギーはがん細胞内でのみ発生・消失するため、周囲の正常細胞に影響を与えることなくがん細胞を選択的に死滅させることができます。

TOPICS

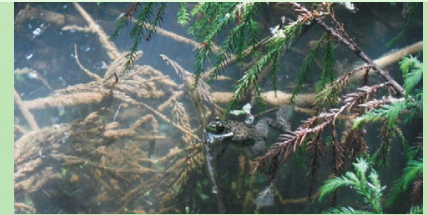
トピックス

サステナビリティ経営の推進

TNFD Early Adopterに登録

リゾートトラストグループは、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）が2023年9月に公表したTNFD提言を採用し情報開示を行う企業として「TNFD Adopter」に登録しました。2024年1月に開催された世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）において、早期採用者（Early Adopter）として公表されています。TNFD提言に準拠した開示は2024年度に予定しており、合わせて自然関連課題の適切な管理に向けたアプローチを進めています。当社グループは、国内外におけるさまざまな事業活動を行うにあたり、自然環境への配慮と共生を大前提としています。限りある資源を次世代に永续して残すことを責務と捉え、ステークホルダーの皆様と連携しながら、自然資本の保全・回復の実現を目指します。

【TNFD】自然関連課題に関する管理と開示の枠組み。自然資本及び生物多様性に関する企業のリスク管理と開示のフレームワークを構築し、世界の金融の流れを自然にとってマイナスの結果から自然にとってプラスの結果へとシフトさせることで、2030年ネイチャーポジティブの実現を目指しています。



エクシブ六甲 サンクチュアリ・ヴィラにて環境設計の実施

リゾートホテルの建設には、周辺の自然環境を維持し、生かす設計が求められます。同施設の敷地は、長年放置されていた土地でしたが、残せる自然はできるだけ残すように、既存の森林の手入れを行うとともに植樹を施し、生物の保全なども踏まえて、現在につながる自然豊かな六甲の森へと再生させました。

ソーラーパネルを全36拠点に設置完了

リゾートトラストグループは、温室効果ガス排出量*を2030年度に40%削減（2019年度比）し、2050年度にゼロとする目標を掲げ、排出削減に向け取り組んでいます。2022年度以降、国内すべての会員制リゾートホテル拠点と、すべてのグループゴルフ場において、各拠点の条件に合わせた太陽光発電設備の導入を進めてきました。2024年3月末時点で36拠点の設置を終え、10月に開業する「サンクチュアリコート琵琶湖」の稼働により、全拠点での設置が完了する予定です。同施設においては、ホテルの屋上と駐車場にソーラーパネルを設置し、日中の消費電力の一部を自家発電で賄う見込みです。

*Sope1（事業者自らによる温室効果ガスの直接排出）及びSope2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）



太陽光発電システム導入施設

TOPICS

トピックス

サステナビリティ経営の推進

企業版ふるさと納税を活用した寄付の実施

当社グループは、グループの重要課題(マテリアリティ)の一つとして、「地域活性化への貢献」を掲げています。2023年10月には滋賀県高島市のまちづくりプロジェクトに賛同し、企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)を活用して5,500万円を寄付しました。当社は同市において2024年10月に「サンクチュアリコート琵琶湖 ベネチアンモダンリゾート」の開業を予定しており、今後も同市と連携し地域活性化に寄与する活動を継続していきます。また2024年2月には、徳島県鳴門市に5,000万円を寄付し、同市のさらなる魅力づくりを後押ししてまいります。



左：福井 正明 高島市長
右：当社代表取締役社長 伏見 有貴



左：泉 理彦 鳴門市長
右：当社代表取締役社長 伏見 有貴

食品リサイクルの取り組みについて

大量生産・大量消費にもとづく経済社会活動は、自然環境に深刻な影響をおよぼしていると考え、世界全体で循環型社会への移行が進められています。当社グループにおいても、限られた資源の有効活用を目的にリサイクルと廃棄物の削減に取り組んでいます。2023年度は、事業で生じた食品残渣(生ごみ)を、農作物栽培における堆肥として資源活用する方法を食品リサイクルグループ共に検討しました。栽培した野菜はいずれも順調に生育し、堆肥として十分に利用可能であるとの評価を受けており、今後も取り組みを継続していきます。



秋(9月~11月)に栽培された小松菜などの葉物野菜

2023年度 食品リサイクルグループの構築

現在、リゾートトラストグループでの食品リサイクルは、外部のビジネスパートナーを通じたものと、施設内に処理機を設置しているものとの二通りの方法があります。

2023年度よりスタートした食品リサイクルグループでは、施設内に設置した処理機で乾燥・発酵させ生産した堆肥を地元の農地で農作物の栽培に活用し、会員様向けの収穫イベントの実施や、一部buffetでの提供を行いました。

ホテルで出た食品残渣由来の堆肥を使い栽培した農作物を、再度ホテルでサービスに活用する食品リサイクルグループに今後も取り組んでまいります。



TOPICS

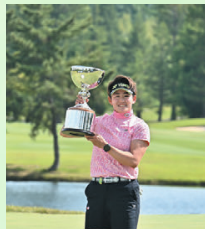
トピックス

サステナビリティ経営の推進

リゾートトラスト レディス2024 関西ゴルフクラブで開催



リゾートトラスト レディスが5月23日から26日の4日間、兵庫県三木市にある「関西ゴルフ倶楽部」にて開催されました。大小10個の池がレイアウトされた関西ゴルフ倶楽部は、距離の長い難易度の高いコースのある林間コースとして知られ、過去3回にわたりリゾートトラストレディスが開催されたチャンピオンシップコースです。6年ぶり4回目となる本大会では、岩井 明愛選手が熱戦を制し優勝しました。



優勝した岩井 明愛選手

「MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」 の構成銘柄に選定

当社グループはこのたび、米国のMSCI（モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル）社が提供するESG評価に優れた企業を選別して構築される指数「MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」の構成銘柄に初めて選定されました。当指数は年金積立金管理運用独立行政法人がESG投資の主要指標としていることで知られています。当社グループは引き続き、サステナビリティ経営を推進してまいります。

2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

能登半島地震への支援

このたびの令和6年能登半島地震により被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

◆ 寄付

当社グループでは、被災者支援や被災地の復興にお役立ていただくため、「企業版ふるさと納税」を通じて、1月10日に石川県へ5,000万円を寄付いたしました。従業員福利厚生制度（カフェテリアプラン）を通じた2,093,086円も寄付しております。

◆ RTTGポイントを通じた募金

また、被災された皆様への支援のため、当社グループが運営するRTTGポイントを通じた義援金の呼びかけを実施し、お客様からお寄せいただいた義援金2,579,414円は、3月31日までに石川県へ寄付しております。皆様の温かいご支援に深く感謝申し上げます。

なお、3月31日までに当社グループホテルとゴルフ場で受け付けた募金の寄付については、当社HPにて詳細を掲載しておりますので、併せてご覧ください。

URL : <https://www.resorttrust.co.jp/ps/qn3x/guest/news/dldata.cgi?CCODE=1&NCODE=225>

共創ストーリーページを新たに開設

《人》を中心に、当社グループの理念や想いを表現しました。日々の業務に向き合うスタッフの想いや、お客様から支えられた言葉などのご紹介と併せ、ステークホルダーの皆様と共に作る未来に向けて、企業として志す先をご紹介します。



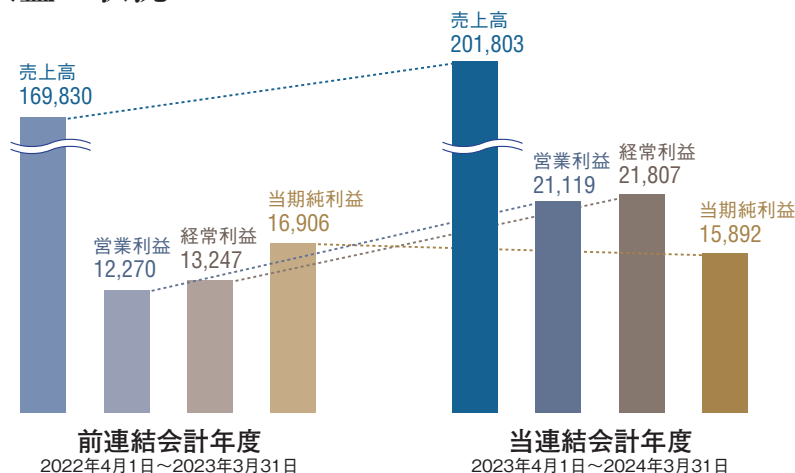
URL https://www.resorttrust.co.jp/cocreation_story/

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

収益の状況

単位：百万円



連結決算の概要

損益 | 前年度に引き続き、ホテル、メディカルの会員権販売が好調であり、会員募集の契約高は過去最高を更新しました。2022年11月に実施したホテルレストラン等事業における値上げの効果に加え、2023年6月以降はホテル会員権の値上げを実施し、人件費や物価の高騰に対応しております。2024年3月には新シリーズ第一弾の「サンクチュアリコート高山」が開業し、不動産収益を一括計上しております。その一方で、前年同期には一般ホテル売却に伴う「特別利益」約90億円が計上されていたことなどにより、この結果として、売上高は201,803百万円(前年同期比18.8%増)、営業利益は21,119百万円(前年同期比72.1%増)、経常利益は21,807百万円(前年同期比64.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は15,892百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

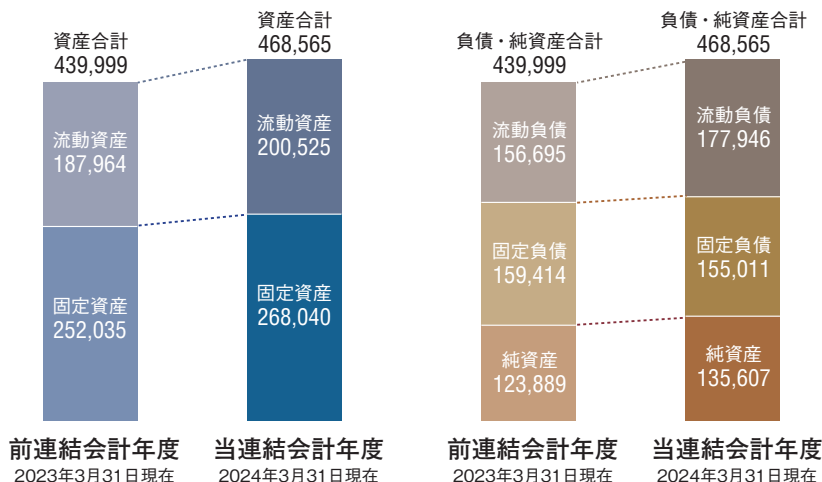
資産 | 流動資産は、前連結会計年度に比べて6.7%増加し、200,525百万円となりました。これは、主に現金及び預金が3,285百万円、割賦売掛金が16,392百万円、仕掛販売用不動産が3,971百万円、それぞれ増加した一方で、営業貸付金が9,683百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は、前連結会計年度に比べて6.4%増加し、268,040百万円となりました。これは、主に会員リゾートホテルの開発に伴い有形固定資産が16,256百万円増加したことなどによるものであります。

負債 | 流動負債は、前連結会計年度に比べて13.6%増加し、177,946百万円となりました。これは、主に工事代金などの未払金が10,131百万円、建設中のホテル会員権の販売進捗により前受金が14,817百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。固定負債は、前連結会計年度に比べて2.8%減少し、155,011百万円となりました。これは、主に会員権販売好調に伴い顧客からお預かりする償却型預り保証金が7,974百万円増加した一方で、長期借入金が11,315百万円減少したことなどによるものであります。

純資産 | 純資産合計は、前連結会計年度に比べて9.5%増加し、135,607百万円となりました。これは、主に利益剰余金が10,531百万円増加したことなどによるものであります。

財務の状況

単位：百万円



CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	前連結会計年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	当連結会計年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	前期比 増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	24,285	39,116	14,830
投資活動による キャッシュ・フロー	6,314	△12,519	△18,833
財務活動による キャッシュ・フロー	△30,995	△23,310	7,685
現金及び現金同等物に 係る換算差額	112	47	△65
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△283	3,334	3,617
現金及び現金同等物の 期首残高	29,210	28,926	△284
現金及び現金同等物の 期末残高	28,926	32,260	3,334

連結決算の概要

営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動による資金は、前連結会計年度と比べ、税金等調整前当期純利益の増加などにより39,116百万円の増加（前連結会計年度比14,830百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動による資金は、前連結会計年度と比べ、有形固定資産の売却による収入の減少などにより12,519百万円の減少（前連結会計年度比18,833百万円の減少）となりました。

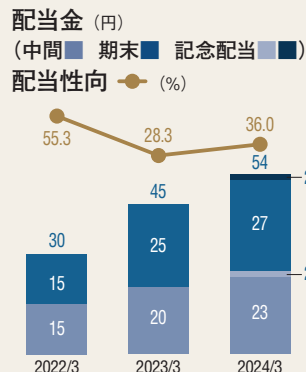
財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動による資金は、前連結会計年度と比べ、短期借入金の純増減額の増加などにより23,310百万円の減少（前連結会計年度比7,685百万円の増加）となりました。

IR TOPICS

創立50周年記念配当を加え年間配当金は54円に

2024年3月期の期末配当金につきましては、創立50周年記念配当2円を加え、1株当たり29円の配当を実施いたしました。創立50周年記念配当2円を加えた中間配当金の25円と合わせ、年間配当金は54円とさせていただきます。なお、2025年3月期の配当金予想については、1株当たり54円となる見込みです。



2024年3月期 決算説明会動画公開

IR活動の一環として、2024年5月15日に開示しました2024年3月期決算の説明会動画を、当社のHPにて公開しております。当社の決算の状況や経営戦略についてご理解を深めていただく一助となれば幸いです。ぜひご覧ください。



▶2024年3月期 決算説明会動画はこちら

<https://www1.daiwair.jp/qviewer/e-cast/2405164681j5pug5m/>

各種情報のご案内

各種情報に関しましては、以下のURLをご覧ください。

会社概要

<https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/outline/>

会社概要

会社名 リゾートトラスト株式会社

本社 〒460-0490 名古屋市中区東2-18-31 8階 瑞穂区
東京本社 〒151-0053 東京都港区代々木4-36-19 8階 世田谷区

所在地

※本社系部門は部署によりビルが異なります。詳しくはコチラへ

代表者 代表取締役ファウンダー 伊藤 賢樹 グループCEO (グループ最高経営責任者)
代表取締役会長 伊藤 謙康 CEO (最高経営責任者)
代表取締役社長 伏見 有貴 COO (最高執行責任者)

創業 1973年4月

資本金 199,990百万円 (2023年3月末)

従業員数 7,943名 (2023年3月末 連結)

事業所施設

本社2カ所、支店44所
リゾートホテル・シティホテル等 国内41カ所、ハワイ1カ所
ゴルフ場13カ所
メサ・カウチカウチ
シニアレジデンス23カ所

グループ会社

リゾートトラスト株式会社(株) 3社

グループ会社一覧

<https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/group/>

グループ会社

ホテル関連

RESORTTRUST HAWAII LLC

ホテルの経営
代表者: 長野 重利

リゾートトラストの運営する建物 (エクスパン・サンメンバーズなど) および付帯施設の企画・設備管理

(株) ジェス

代表者: 長野 重利
TEL: 052-310-0794
URL: <http://rtg-jes.jp/>

ヘアアクセサリ等の製造・販売

(株) コンプレックス・ビジネスソリューション

代表者: 長野 重利
TEL: 052-310-2450
URL: <http://www.complex-biz.com/>

新築物件の提供

(株) サンホテルエージェント

代表者: 宇治 雅治
TEL: 052-310-0798

役員一覧

https://www.resorttrust.co.jp/corporate/about/board_member/

役員一覧

役職	名前	職歴(2023年9月1日現在)
代表取締役ファウンダー	伊藤 賢樹	グループCEO(グループ最高経営責任者)
代表取締役会長	伊藤 謙康	CEO(最高経営責任者)
代表取締役社長	伏見 有貴	COO(最高執行責任者)
取締役副社長	新谷 敦之	役員部本部 部長
常務取締役	井内 寛之	営業部門 営業 課 COO(コンプライアンス経営責任者)

株式の状況・株式分布状況・株主メモ

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/information/index.html>

株式基本情報

株式の状況 (2024年3月31日現在)

項目	数値	市場
証券コード	4681	東証プライム市場、名証プレミア市場
業種	サービス業	
決算期	3月31日	上場年月日 2000年11月27日
株主数	150,000,000株	発行済株式数 109,800,000株
発行済株式数	109,800,000株	発行済株式の総数 108,520,799株

株主優待

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/stock/benefit/>

株主優待情報

基本的な優待制度

長期保有株主向け優待制度 (2016.3.31新制度)

100株以上の株主様に対し「株主優待電子チケット(2023.3月末の株主様より)」を発行いたします
※電子チケットは、「RTTGアプリ」にて発行予定です
※内容詳細は、2023年6月29日に株主様へ株式計算書類とともに届出しています。
※不明な点については、FAQをご確認ください

【株主優待の留意事項】
2022年度より、変動株主様へ(6月末~7月上旬)に、「RTTGポイントクラブ」アプリを基本に電子優待券を発行いたします。発行に当たっては、変動株主様へ(6月末~7月上旬)に株主様へ電子優待券

個人投資家向けIRページを開設

2023年12月に、個人投資家の皆様に向けた新たなコンテンツ「個人投資家の皆様へ」を公開しました。会員制ビジネスの強みなどを掲載する「リゾートトラストのビジネス」をはじめ、4つの切り口からリゾートトラストグループについて分かりやすく紹介しています。今後の成長戦略についても掲載していますのでぜひご覧ください。

個人投資家の皆様へ

リゾートトラストグループを知る

- 1 リゾートトラストグループのビジネス
- 2 配当・株主優待
- 3 数字で見るリゾートトラスト
- 4 将来の展望

<https://www.resorttrust.co.jp/ir/investor/>